



2010年2月7日

号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

施政方針演説はじめ政府4演説

「いのちを守る」社会を 人間が人間らしく幸福に生きるために

鳩山由紀夫総理大臣(代表)は、1月29日衆参両院の本会議で、就任後初となる施政方針演説を行い「いのちを守る」ことを最重要命題として、政府のすべての施策を構築し直すことを訴えました。



冒頭、鳩山総理は、「いのちを守りたい」と切り出し、「未来を担う子どもたちが、自らの無限の可能性を自由に追求していけるそんな社会を築く」と宣言しました。

また、鳩山総理は、ガンジーの「七つの社会的大罪」(理念なき政治、労働なき富、良心なき快樂、人格なき教育、道徳なき商業、人間性なき科学、犠牲なき宗教)を引き、「人間が人間らしく幸福に生きていくためにどのような経済が、政治が、社会が、教育が望ましいのか。今、その理念が、哲学が問われている」と呼びかけました。



また、岡田克也外務大臣は外交演説で「人々が希望を感じる外交を外務省の総力を挙げて展開していく」、菅直人副総理兼財務・経済担当大臣は財政演説で「知恵を使って新たな雇用・需要を生み出す第3の道を進むべき」、経済演説で「生活の安心と真の豊かさを取り戻すべく、政策を全力で進める」とそれぞれ訴えました。

そのうえで、人間の幸福を実現するための経済をつくりあげることが、この内閣の使命だと強調しました。

新しい公共をつくる

市民キャビネット設立協議会

「新しい公共をつくる市民キャビネット設立協議会」が1月29日、都内で開催されました。会を代表して古賀伸明・NPO事業サポートセンター代表理事(連合会長)は、「政権交代は新しい社会づくりのスタートでもある。市民、NPOの側も市民団体やNPO団体の声を集約する市民キャビネットが必要」との思いで設立に至ったと経緯を紹介。



前田武志・常任幹事会議長は、「政府のキャビネット、市民のキャビネット。それをつなぐのが、私

ども民主党の役割」と連携を強化する考えを明示。谷博之・党NPO担当は、「昨日、NPOの皆様方と連携をとるための党としてのプラットフォームを立ち上げた」と報告し、「対等な関係で一步一步活動していき、それが次の活動につながるようにしたい」と決意を示しました。

政府を代表して鈴木寛・文部科学副大臣は、「半歩先のモデルケースを作っていくことが新しい公共。市民キャビネットと中央政府のコラボレーションを一步一步やっていきたい」と宣言しました。

長崎県知事選挙告示

新しい県政誕生へ戦いがスタート

任期満了に伴う長崎県知事選挙は4日告示され、7名の新人が立候補し、21日投票までの17日間の戦いの火蓋が切られました。

民主党はじめ、社民、国民新の3党推薦候補の出陣式は、午前9時から長崎市内で約500人の参加のもとで行われ、石井一選対委員長は「何としても勝利しなければならない。民主党は長年の自民党の負の遺産を抱えての大きな仕事をしている。(政権交代後)まだ5カ月足らずであり、1年、2年後には国民生活は大きく変わる。古い自民党よ、さよなら。新しい民主党こんにちは。必勝に向けて一丸となって頑張ろう」と訴えました。